

森 中 新 市 長 就 任 に 係 る 臨 時 記 者 会 見

日 時：令和5年2月20日(月)
午前8時45分から午前9時15分まで

場 所：守山市役所 3階 31 会議室

幹事社：産経新聞社・NHK

1 開 会

2 市長就任にあたって

3 質 疑 応 答

4 閉 会

【次回の予定】

2月定例記者会見

令和5年2月24日(金) 午前11時から 守山市役所 3階 31 会議室にて

職員の皆様へ ～市長就任に当たって～

1. 基本的スタンス(職員の皆さまへのお願い)

- 危機管理について、とにかく第一報を迅速に。悪い情報ほど、早く上げる。
～365日24時間、ロゴチャット等を活用して。正常性バイアスを排除～
- 仕事のやり方を合理的に。いまのやり方は本当に最良の方法なのか常に検証。
～新庁舎は絶好の機会。上司は部下の改善提案をまずは受け止めて～
- 私のスタイルは、トップダウンよりボトムアップ。しっかり議論⇒迅速に結論。
～職員の皆様からの提案が必要不可欠。若手からの提案を形にしよう～
- 徹底現場主義。答えは現場にある。
～なるべくこの目で見て、参加したいので、積極的に秘書室に情報を！～
- 変えることをおそれない。より良い技術や新しい手法を積極的に取り入れる。
～「できない」と思う前に「どうしたらできるのか」というアプローチ～
- 積極的な連携とコラボ(縦割りを排除し、「おせっかい」と「お互い様」の気持ちで)
～「自覚者が責任者」の気持ちで。県や他市町、国の各省庁等との連携も～

2. まちづくりの方向性(総論)

- 「伸ばす」ものは徹底的に、スピード感を持って伸ばしていく。と同時に、
困難を抱えた方々などに「寄り添った」施策を重視する。(長期的視野での検討も)
～「伸ばす」施策で得た果実(税収、人口増等)で「寄り添った」施策を実施するサイクル～
- 「伸ばす」施策の例
⇒ 子育て世代の負担軽減、企業誘致、中心市街地や湖岸の活性化 など
- 「寄り添った」施策の例
⇒ 不登校児やヤングケアラーへの対応、モーリーカー利用促進・運用改善、
医療・介護・福祉の一層の連携・強化、地域での居場所づくり、
地域の空洞化を食い止め担い手を確保する施策の検討 など

地域の絆が残り、活力があり前向きな動きが多い守山なら、
10年後、20年後を見据えた、人・自然・びわ湖、みんなが幸せな
サステナブルなまちづくりを進め、
守山を元気に、守山から滋賀を、滋賀から日本を元気にできる！
職員の皆さまと一緒に、全国のモデルとなるような日本一のまちづくり、
守山の新時代を作り上げていきましょう！

国・県・市、金融機関での経験を活かして、 全力投球します！

10年後、20年後を見据え、困難な課題に逃げずに挑戦

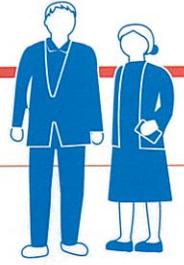
子育てするなら守山！

- 子ども医療費無償化の拡大や妊産婦支援充実・産婦人科医院誘致
- 放課後の子どもの居場所や親子でつどえる・相談できる場所の充実
- 地域や社協と連携し、不登校やヤングケアラーなど困難な状況にある子ども達の把握とケアの充実
- 青少年赤十字の精神「気づき・考え・実行する」、豊かな自然・文化環境を活かした学びの充実



住むなら守山！

- だれもが健康に暮らせるワンストップ相談支援体制の整備
- 住み慣れた地域で住み続けられるための医療・介護の連携強化と高齢者・障がい者・生活に困難を抱える方等に対する福祉の充実
- もーりーカーの利用促進・運用改善等による地域交通の充実や渋滞対策の推進
- 消防団や自主防災組織の充実強化や個別避難計画作成推進など地域防災力の強化
- 国の交付金などの活用によるDX(まち・ひと・行政のデジタル化)、GX(地球温暖化対策)の推進



働くなら守山！

- 村田製作所研究開発拠点の守山駅東口誘致を契機とする東口全体のあり方検討・東西の一体的活性化・ベンチャー企業の集積
- 民間活力による道の駅構想の推進やスポーツ拠点の整備など湖岸地域のポテンシャルを活かした活性化
- 企業誘致や起業支援、県立高専との連携。保育・介護等の人材不足への対応
- 後継者育成支援やスマート農業による農業や漁業振興
- 女性や若者、高齢者や障がい者だれもがいきいきと活躍できるまち



市民が主役の守山！

- 空き家対策で地域の空洞化を食い止め、担い手を確保。市民のちからや地域の絆でつながるまちづくりとみんなの居場所づくり
- 中山道、ユネスコ無形文化遺産、服部・下之郷・伊勢等の遺跡など歴史・文化財を活かしたまちづくり
- 市役所事務の効率化やICT技術の活用等により「人にしかできない」ことに注力し、健全財政を推進することで市民からより信頼される市役所へ



Profile

1979年(S54)生まれ、東京育ちの43歳。2002年(H14)東京大学法学部を卒業後、総務省に入省し、地方財政、地方税制、地域のデジタル化、消防防災など地方自治制度を幅広く担当。2008年(H20)守山市役所に直属事務監として出向し、行財政改革等を担当。消防団(吉身分団)に入団し守山市ポ

ンプ操法披露会に2年連続出場。2018年(H30)からは滋賀県庁に4年間出向し、商工観光労働部長や総務部長等を歴任。首相官邸危機管理センターで東日本大震災の対応や、政府系金融機関にも勤務するなど、国・県・市・金融機関で幅広い経験を積む。妻(両親は滋賀県出身)と小6息子の3人家族。

